

その他

1. 機構看護部の取り組み 138
2. 採用内定者懇談会の様子 139
3. 資料編 141

1. 機構看護部の取り組み

- 1) 平成 27 年度 行って帰り研修
- 2) 平成 28 年度 マネジメントラダー
- 3) 平成 29 年度 特別試験(学校推薦)開始
- 4) 平成 30 年度 看護管理担当新設(業務分掌:別紙1)
- 5) 平成 31 年度 キャリア形成の節目研修

1-1) 行って帰り研修実績

	コース名	所属 → 研修先	回数
平成 28 年度	安全で腰痛のないトランスファー 技術を学ぼう!	安佐 → リハビリ	1
平成 29 年度	血管内診断とその治療	安佐 → 広島	1
	一緒にしようや。来てみんさい・見てみんさい・さわってみんさい。	安佐 → 広島	2
	安全で腰痛のないトランスファー 技術を学ぼう!	安佐 → リハビリ	4
平成 30 年度	安全で腰痛のないトランスファー 技術を学ぼう!	安佐 → リハビリ	1
	一緒にしようや。来てみんさい・見てみんさい・さわってみんさい。	安佐 → 広島	1
平成 31 年度	安全で腰痛のないトランスファー 技術を学ぼう!	安佐 → リハビリ	1
	医療支援室研修	舟入 → 広島	1
	救急外来成人トリアージ研修	舟入 → 広島	1

1-2) マネジメントラダー

平成 30 年度	マネジメント能力向上研修	舟入 → 広島	1
----------	--------------	---------	---

1-3) 特別試験(学校推薦)開始

平成 29 年度より受験生の確保方法として、学校からの推薦書を提出させることを受験の条件とする「推薦試験制度」を導入した。これにより、学校が推薦できるような優秀な人材(当機構に合った人材)や、当機構に対するイメージギャップの少ない学生、採用を辞退しない受験生の確保が可能となり 30 名程度を採用している。

1-4) 看護管理担当業務分掌(別紙1)

1-5) キャリア形成の節目研修

広島市立病院機構 4 病院の教育連携を図り、ラダーⅡ取得者、新主任看護師、新師長を対象に「キャリア形成の節目」となる時期に、合同で研修を行い、機構看護職員として求められる職務遂行能力を修得し、それぞれの職場で発揮できることを支援する。

	テーマ	講師
新師長研修	会議に活かすファシリテーション	(有) NTX 代表取締役 野口和裕先生
新主任研修	チームを上手く機能させるためのリーダーシップ	(有) NTX 代表取締役 野口和裕先生
ラダーⅡ取得者 研修	キャリアデザインとキャリア開発	大西恵子事務所 大西恵子先生

2. 採用内定者合同懇談会の様子

採用内定者合同懇談会を実施し、機構の概要と先輩看護師の体験談等を聞くことで、機構職員として就職する意識を高め、採用辞退者の減少を図ることを目的としている。

実施日	内定者数	参加者	参加率
令和元年 10 月 12 日 (土)	118 人	104 人	88%



区 分	内 容 等 (平成 30 年度)	備 考
1 人事・サービス管理		
(1) 人事異動事務	・ 各病院の人事異動案のとりまとめ	
(2) 人事交流の検討	・ 人事交流の実施方針、方法等の検討	
(3) 年間採用計画	・ 採用試験の募集人員の検討資料として整備	随時採用の必要性などを検討
(4) 看護師採用関連事務	・ 募集事務、採用試験、就職ガイダンス等	
(5) 今後の職員配置の検討	・ 診療報酬改定に対応した職員適正配置の検討	
(6) その他	・ 新採のリアリティショック、職場不適応症者への対応	試用期間延長等対象者への対応に係る応援を含む
2 教育・研修（人材育成）		
(1) 教育・研修計画の作成	・ 4病院の合同研修計画の作成 ・ 4病院教育担当者会議	
(2) キャリアパス・キャリアアッププランの作成	・ 認定看護師資格等の更新費用の制度等の導入 ・ 専門資格有資格者の配置、異動方針の検討	
(3) 管理者研修の立案・実施	・ 機構内留学制度の整備及び実施等	
(4) ラダー別研修の立案・実施	・ 新規採用職員の教育、研修の一部統合検討	
(5) その他	・ 特定行為研修修了看護師の導入促進の検討	医師の業務負担軽減に向けたタスク・シフティング対策
	・ 自己研鑽研修への支援策の拡充	
3 労務管理		
(1) 勤務体制の改善検討	・ 看護師の交代制勤務の負担軽減	育児短時間勤務者の夜勤導入は、引き続き、人事係が担当
	・ 夜勤検討委員会（4病院）への出席	
(2) 待遇改善の検討	・ 助産師、認定看護師等への特殊勤務手当の支給検討	
(3) 介助業務員の確保	・ 処遇改善、業務の見直し、養成方法に係る病院との調整	
(4) その他	・ 労働関係法令等の遵守策の検討	
4 看護業務管理及びその他関連業務		
(1) 病院間の連携推進、連絡、調整	・ 看護部門会議の開催	毎月開催
(2) 看護部門年報の作成	・ 病院への原稿、資料提出依頼、編集、印刷発注	毎年7月発行
(3) 看護専門学校との連携	・ 連絡調整会議の開催、看護教員の出向調整等	
(4) 予算要求用資料の作成	・ 担当業務に係る予算要求資料の作成	
(5) その他	・ 病院看護部からの各種問い合わせへの対応	

資料編

1 正規看護師職員数等（平成31年4月1日現在）

病院名	職員数	平均年齢	平均勤続年数	最も多い年代
広島市民病院	953人	35歳7か月	11年6か月	20歳代(34.3%)
安佐市民病院	603人	35歳3か月	10年11か月	30歳代(39.8%)
舟入市民病院	153人	35歳8か月	10年10か月	30歳代(34.9%)
リハビリテーション病院	70人	36歳2か月	7年3か月	40歳代(41.4%)
全病院	1,779人	35歳6か月	9年8か月	20歳代(34.9%)

2 職位別の看護師数、年齢等（平成31年4月1日現在）

	広島市民病院			安佐市民病院			舟入市民病院			リハビリテーション病院		
	平均年齢	勤続年数	人数	平均年齢	勤続年数	人数	平均年齢	勤続年数	人数	平均年齢	勤続年数	人数
(役職なし)	32.0	7.01	741	30.5	6.22	470	32.0	4.25	113	35.0	5.65	56
主任	49.0	26.5	175	48.4	24.13	107	45.0	22.56	31	43.6	13.3	9
師長	53.0	30.29	37	54.76	30.77	27	57.0	33.05	9	51.6	13.63	5

3 普通退職者数の推移（括弧内の数値は4月1日在籍職員に対する割合）

	平成29年度	平成30年度	平成31年度
広島市民病院	61人(6.7%)	52人(5.6%)	43人(4.5%)
安佐市民病院	40人(6.9%)	51人(7.5%)	53人(8.9%)
舟入市民病院	6人(3.9%)	7人(4.6%)	9人(5.9%)
リハビリテーション病院	7人(9.9%)	7人(9.7%)	6人(8.6%)
全病院	114人(6.6%)	117人(6.4%)	111人(6.2%)

■ 地方独立行政法人広島市立病院機構本部事務局

〒730-0037

広島市中区中町8番18号

電話 (代) 082-569-7700

<http://www.hcho.jp>



*令和2年8月下旬以降
住所変更

■ 広島市立広島市民病院

〒730-8518

広島市中区基町7番33号

電話 (代) 082-221-2291

<http://www.city-hosp.naka.hiroshima.jp>



■ 広島市立安佐市民病院

〒731-0293

広島市安佐北区可部南二丁目1番1号

電話 (代) 082-815-5211

<http://www.asa-hosp.city.hiroshima.jp>



■ 広島市立舟入市民病院

〒730-0844

広島市中区舟入幸町14番11号

電話 (代) 082-232-6195

<http://funairi-hospital.jp>



■ 広島市立リハビリテーション病院・広島市立自立訓練施設

〒731-3168

広島市安佐南区伴南一丁目39番1号

電話 (代) 082-848-8001

<http://soriha-hiroshima.jp>



広島市立病院機構 看護部門年報

平成31年度

発行／地方独立行政法人 広島市立病院機構

本部事務局 経営管理課

広島市立広島市民病院 看護部

広島市立安佐市民病院 看護部

広島市立舟入市民病院 看護科

広島市立リハビリテーション病院・広島市立自立訓練施設 看護科

発行日／令和2年7月31日